



今年の調査は、縄文時代中期(約5000年前)以降の住居跡など、大きな貝塚を残した陸平縄文人の生活跡の発見を目指します。
調査する場所はB貝塚の南西端、やや窪んだ谷地形の東側台地上です。(写真☆印)



調査地点近景。(南から撮影)
画面中央の黒い屋根のテントが立っているところが今年の発掘場所です。その西側がやや低くなっているのがお分かりでしょうか？
現在は埋まっていますが、ここが谷部です。
調査地点は西側に谷部を望む台地縁辺部という立地になります。



9月3日水曜日。
今日から調査スタートです。
例年より遅い始まりですが、猛暑が去り、発掘には最適の気候となりました。
今年の調査も事前研修を受講した文化財協力員の皆さんを中心に取り組みます。
午前中に発掘機材の搬入やテント設営などの諸準備を皆で行いました。

いよいよ発掘開始です！
まずは表面の草を刈り、表土層の調査です。